

認知症に関する活動計画（概要）

島根県作業療法士会は、会員数534名・137施設（令和4年5月1日現在）で構成されています。令和4年度は、オンラインでの研修会「なんでもござれオレンジルーム」を企画し、県士会員の日頃の認知症ケアに対する悩みや地域資源の活用、退院支援や地域での生活支援の方法を共有・相談できる場づくりを行いました。今後、認知症の人と家族の会との連携の在り方を検討していく予定です。

多職種での合同研修会「帰宅欲求のある方へのケア」

島根県の「認知症施策の推進」によると島根県における認知症高齢者数は、令和2年は43,900人、令和7年には44,900人に増加することが見込まれています。認知症ケアにおいて、行動・心理症状（BPSD）への対応についてはチームで関わるのが重要であり、介護士やケアマネジャーなど多職種での認知症ケアのスキル向上を目的に実施する予定です。行動・心理症状へのケアについて多職種の視点から価値観や情報を共有して実践につなげられるようにしていきます。



なんでもござれオレンジルーム（オンライン研修会）

オンラインで認知症ケアに対する悩みや地域資源の活用、退院支援や地域での生活支援の方法を共有・相談できる場づくりを行いました。主な内容は以下の通りです。

- ・コロナ禍でのオレンジカフェなどの地域活動
- ・RUN伴の活動
- ・認知症がある方の自動車運転や買い物の支援
- ・地域で暮らすために利用できるフォーマル、インフォーマルの取り組み
- ・通所施設での支援の在り方
- ・認知症初期集中支援チームの各地での活動
- ・自動車教習所の教官との意見交換



島根RUN伴への参加(出雲・大田・浜田・益田地区)

県士会員が当事者や地域住民、他職種と協働して「認知症になっても安心して暮らせる町」を目指して活動しています。認知症の人と家族の会や行政と連携して研修会への参加やイベントの企画を行っています。

